

令和2年度 第2回 子ども・子育て未来会議議事録

令和3年(2021年)3月22日(月)

午前10時から

湖南省役所 3階 大会議室

【出席委員】 野村副会長、池村委員、國重委員、平井委員、勝井委員、白鳥委員、林委員、中島(扶)委員、田中委員、稲塚委員、中島(秀)委員、大黒委員、中村委員、細田委員、小山委員

【欠席委員】 田畑委員、松山委員

【事務局】 蒲谷健康福祉部長、今井子ども家庭局長、岸村健康福祉部次長、川崎健康政策課長、谷課長補佐、村恵主査

【議事事項】

- 1) 令和3年度の入園状況について
- 2) 公立園民営化後の状況について
- 3) 学童保育所の入所見込みについて
- 4) 子ども家庭総合センターの運営状況について
- 5) その他

【議事録】

事務局	定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第2回湖南省子ども・子育て未来会議を開会させていただきます。委員の皆様方には大変お忙しい中にもかかわらずご出席いただき誠にありがとうございます。まず初めに、開会にあたりまして生田市長よりご挨拶申し上げます。
市長	皆さんおはようございます。令和2年度、第2回湖南省子ども子育て未来会議の開催に際しまして、一言ご挨拶申し上げます。平素は湖南省の子育て支援、並びに就学前の児童の教育に関しまして、お力を賜っておりますこと御礼申し上げます。また、この度は、新聞報道等でご承知かと思いますが、市内の保育関係施設において、新型コロナウイルス感染症の陽性者の園児18名を確認し、クラスターと認定されました。市民の皆様をはじめ、委員の皆様方にも大変ご心配をかけました。本市におきまして、保健所の疫学調査などに協力を行い、濃厚接触者の特定もされ、これ以上

の感染拡大に繋がることなく、一定収束したものと推測しております。園児も本日から全員登園可能となっております。今後も保健所の指導に従い、新型コロナウイルス感染症予防に、より一層の注意と対策を講じ、保護者の皆様が安心して子どもをお預けいただける施設運営に努めて参ります。さて、既にご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、本会議の会長であらせられました奥村容久様が、昨年10月3日に80歳でご逝去されました。奥村会長は、平成16年の合併当初から湖南省の初代教育長に就任され、平成23年度までの長きにわたり、本市教育行政をご牽引いただき、また、この子ども・子育て未来会議では、創成期より会長を務めいただいております。湖南省立保育園等民営化検討委員会においても、会長を務めていただき、平成30年4月には、「湖南省保育サービス向上のための民間活力の基本計画」の策定にご尽力賜り、湖南省立保育園等の民営化について答申をいただきました。市は、それに基づいて本年度から6つの公立園を民間に移管するとともに、4つの中学校区に、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行う子ども家庭総合センターを設置しました。このように奥村会長は晩年本市の教育や子育て政策に多大なご尽力をいただきました。心からご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

さて昨今、子育てをめぐる現状は大変厳しいものがあり、結婚、出産への価値感の変化や、子育てに対する負担感の増加、また、今般の新型コロナウイルス感染症の影響もあり、経済的なものはもとより、先の見えない不安感などにより、少子化に歯止めがきかない状況に拍車をかけているように感じております。国の2020年1年間の出生数の速報値では82万2683人となっており、前年よりも2万5917人減少し、過去最低であったと、先日報道がありました。国も子育て支援施策、少子化対策に力を入れておりますが、数字ではまだまだその効果があらわれてこない状況でございます。本市におきましても2020年の出生数は402人で、2016年の508人から、年々減少しております。また母子健康手帳発行数は400人を下回っておりますので、依然として減少傾向であると言わざるをえない状況であります。私は昨年11月の市長就任の際、子育て支援施策に今まで以上に力を入れたいと、公約で述べさせていただきました。その内容としましては、1. 中学生以下の医療費の無償化、2. 妊婦健診、産後健診の費用の助成等回数の拡充、3. こども園、学童保育などの幼児教育、保育の充実、小中学校の給食の無償化でございます。いずれも大きな財源が必要な施策でございます。コロナ禍で、税収の落ち込みと、その影響について先の見えない状況でございますので、持続性の担保など、十分な検証を行いながらも順次ではあります、できるところから早期に進めて

	<p>いきたいと考えております。子どもが明るい未来を描き、子を持つ家庭が安心、満足して湖南省で暮らしていただけるよう、委員の皆様にも活発なご提案ご協力をお願いしまして、開会の挨拶とさせていただきます。何卒よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。会議に先立ちまして、先ほど市長の挨拶にもございましたとおり、平成 25 年度の本会議の立ち上げより、会長として、湖南省の子育て政策にご尽力をいただきました奥村会長が昨年 10 月 3 日にご逝去されました。謹んでご冥福を祈り、皆さんで 1 分間の黙祷をささげたいと思います。皆様、ご起立をお願いします。黙祷。ありがとうございました。それではご着席ください。本日、市長におきましては、この後、公務が入っておりますので、申し訳ございませんがこれにて退席させていただきます。市長ありがとうございました。それでは、会議の前に、湖南省子ども・子育て未来会議条例第 6 条第 2 項、「会議は委員の半数以上が出席しなければ議事を開き議決することができない」により、本日、全委員 18 名のうち、15 名の出席が確認できましたので、本会議が成立していることをご報告させていただきます。次に、本日配布させていただいております資料の確認をさせていただきます。</p> <p>【資料確認】</p> <p>それでは本日の会議の進行につきましては、条例第 5 条第 4 項に、「副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代理する」と、ございますので、副会長をお願いいたします。副会長よろしくお願いいたします。</p>
副会長	<p>皆さん本日は本当にお忙しい中、いろいろ出にくい中を、ご参加いただきましてありがとうございます。私もこれまで、会長に任せきりでしたので緊張しております。不慣れですので皆さんに大変ご迷惑かけると思いますが、皆様のご協力をいただき、何とか進行させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、早速ですが、議題に入らせていただきます。議題 1 は、令和 3 年度の入園状況についてです。事務局の方からよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>資料 1 に基づきまして、令和 3 年度の保育園、こども園 2 号 3 号の入園の決定状況をお知らせさせていただきます。9 月に申請を受け付けまして、申請者は全員で 430 人でした。そのうち、入所内定者数が 383 人、それから辞退者数が 15 人となっております。また保留者数ですけれども、こちらの方は求職活動で申請はされましたが、実際、求職活動を開始されていない方と、第 1 希望の園のみで、他の園には入園はしませんという方が 5 人いらっしゃいました。また、育休延長の希望者が 27</p>

	<p>人となってございます。こちらの方をトータルさせていただきまして、430人ということで、この令和3年4月1日の入園状況では待機児童数はゼロとなっております。参考ですけれども、三雲くじら園から、あったか保育室つぼみまでのそれぞれの内定者数と、それぞれの園児の学年をこちらの方に示しております。その中で大変申し訳ございません。9行目の優愛保育園モンチさんなんですけども、優愛の優が友となっておりますが大変申し訳ございませんが、やさしいの優愛でございまして、資料の方を訂正させていただきますようよろしくお願いいたします。令和2年の4月1日現在、待機児童数が54人でありましたが、何とか来年度は待機児童数を4月1日時点でゼロに持ってくることができました。今年に関しましては、第1回子ども・子育て未来会議の中でも、平松こども園、岩根保育園、下田こども園の定員数を増やさせていただくことでこの本会議の方でご承認をいただきました。平松こども園は160人から185人に、岩根保育園は120人から160人、それから下田こども園は140人から150人ということで増やさせていただいております。その中で実際に今年度よりも定員を増やして受けていただいた園が、平松こども園です。こちらは180人も受けていただきましたので20人の増となっております。それから岩根保育園につきましては園児のニーズがなかったということで、今年度と変わらずの人数で、定員は160人に増やしてもらいましたが、受け入れの方は、多くはなっておりません。それから下田こども園は155人で、定員150人のところ155人まで受けていただけることができましたので、定員を大きく上回って受けていただいております。それから民間園でも定員を2割まで増やして受けていただけるということで、その中で、甲西あかつき保育園、それから阿星あかつき保育園、京進の保育園 HOPPA 菩提寺西、それから優愛保育園モンチが定員以上受けていただくことができましたので、今年度4月時点で待機児童数がゼロとなるよう調整していただけたところでございます。資料1については以上の報告になります。よろしくお願いいたします。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。事務局から説明いただきましたが、これに対して皆さんご質問、ご意見がありましたらよろしくお願いいたします。ございませんか。全国的に本当に毎年毎年増えてる中で大変な努力していただいたと思います。よろしいでしょうか。それでは議事2の公立保育園民営化後の状況についてに進めさせていただきます。事務局から、説明よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>続きまして、資料2を見ていただけますでしょうか。保育園等民営化した園の整備スケジュールということで、表にさせていただいてお</p>

	<p>ります。まず、令和3年度、来年度ですけれども、阿星あかつき保育園と、三雲くじら保育園の整備工事を計画させていただいております。阿星あかつき保育園につきましては、前の市立阿星保育園で、昭和47年建築の建物、三雲くじら保育園は前の市立三雲保育園で、こちらは昭和49年の建物ということで、両方とも旧耐震基準の建物になっております。老朽化も進んでおりますので、建て替えを国県の補助金を有効的に活用しながら進めていただく計画になっております。両園とも、令和3年度中に新園舎の整備工事を着工し、年度内に新園舎を完了しまして、令和4年度の4月から新園舎で保育を始めていただける予定をしております。それから建替え工事中もぎりぎりまで旧園舎で保育をやりますので、解体・外構工事のみ令和4年度に施工していただく予定をしております。両園とも現地での建て替えということになっております。阿星あかつき保育園につきましては、令和4年度以降は幼保連携型認定こども園で開園をされる予定をされております。続きまして、京進の保育園 HOPPA 湖南水戸、こちらの方は前の市立水戸保育園なんですけれども、そちらの整備は、もう1年遅れまして、令和4年度に整備工事をされます。こちらは新園舎での開園予定が令和5年度となっております。京進の保育園 HOPPA 湖南水戸につきましては、現地建替えになるのか、移転をするのかということで、今協議をしております、最終的に令和3年度中には決定をされ、当市の方は、11月の予算要求の方に間に合わせていきたいと考えております。こちらの保育園につきましては、令和5年に新園舎で保育を開始する予定で、運営は株式会社がございますので、建替え後も引き続き保育園の形態で運営されると聞いております。続きまして1年後になるんですけれども京進の幼稚園 HOPPA 石部、社会福祉法人こころざしですけれども、前の市立石部幼稚園でございますが、こちらの方は昭和51年建築の建物でございます。令和5年度に整備工事をさせていただきます、令和6年度から新園舎で保育を実施される予定でございます。こちらの幼稚園につきましても、令和6年度からは幼保連携型認定こども園で開園を予定させていただいておりますので、今まで0、1、2歳の保育の受け入れがなかったんですけれども、こども園に認可、認定変更していただいた暁には、0、1、2歳の方も、受け入れ人数が拡充する予定でございます。また、京進の幼稚園 HOPPA 石部南と菩提寺くじらこども園につきましては、両園とも平成9年度建築の建物でございますので、新耐震基準で建築されておりますので、今回の建て替えの方のスケジュールの予定には入っておりません。以上でございます。</p>
副会長	ありがとうございます。着々と進んでるようなんですがこれに対して、

	皆さんご意見、お考え等ありましたらお願いいたします。
委員	<p>新しく整備されますこの阿星あかつき保育園と三雲くじら保育園なんですが、確か予定では、現行の場所に建て替えられるというふうに聞いておるんですが、少し心配なのは、今、あかつき保育園にしてもくじら保育園にしても定員がすごく多いので、仮設の園舎を予定されておられるのか、或いは、狭いところに園児が追いやられるのか、そういったところの素朴な疑問を感じますので、私も三雲くじら保育園は知っているのですが、もう園舎いっぱいいっぱい、プレハブまで建っている状況の中で、建替えされるのは良いのですが、安全対策として園児と一定の間隔が取れるのかなと思っているのですが、その辺の計画内容がわかれば教えていただきたいんですが。</p>
事務局	<p>三雲くじら保育園につきましては、現在協議させていただいてる中では仮設は設けずに、現地で建て替えの計画をしていただいておりますけれども、まだ詳細にどういう形で建て替えを進めていくかというところまで今現在協議中のございまして、詳細なところまではまだ協議ができていません。現在協議している範囲では、仮設は設けずに、現地の園庭のところで、安全対策をしながら整備をしていくというふうに聞いております。阿星あかつき保育園につきましても、同じく、今の園庭側のところに新園舎を建てられて、その園舎ができてから元の既存の園舎を解体される計画です。どちらも仮設は設けられずに、安全対策をとりながら、できるだけコストがかからない方法で、計画の方を進めていただく予定となっております。</p>
事務局	<p>今、委員がご心配いただいております保育を継続しながら工事ができるのかどうかということですが、三雲くじら保育園につきましては、次年度 146 人からのスタートになっております。それから、阿星あかつき保育園は次年度 113 人からのスタートになっております。三雲くじら保育園につきましても園庭に建てると言いますが、園庭自体が狭い状況ですので、一部未満児保育をされてる仮設の建物を一旦撤去して、今の旧の園舎のところに、昔、未満児保育をしていた部屋がありまして、その部屋の物とかを整理して、一時的にそこで保育をしながら今の未満児のプレハブの建物をまず移動させて、そこに建てるということを聞いております。それから三雲くじら保育園の計画としましては、新園舎は二階建てでされると聞いておりますので、割とコンパクトな形で、園舎を整備されることになろうかと把握しております。それから阿星あかつき保育園は割と園庭が広いので、プール側のところに園舎を持ってこられるというようなイメージの配置図を出していただいておりますので、計画的</p>

	<p>に阿星あかつき保育園はやっていただけるというようなことで聞いております。</p>
委員	<p>できるだけ安心して預けられるよう、市の方から十分な監督を行って見ていただき、安全に工事を進めていただければ幸いです。ありがとうございました。</p>
副会長	<p>その他にどなたかご意見ありませんか。よろしいでしょうか。それでは、議事 3 の学童保育所の入所見込みについてに進めさせていただきます。事務局の方よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>資料 3、令和 3 年度湖南省学童保育所の入所見込みについてご説明させていただきます。</p> <p>就学前の保育園等の利用ニーズの高まりを受けてまして、前回の会議でもご報告させていただいておりましたが、学童保育所の近年利用児童が増加しておりました。今月上旬時点で各学童保育所の来年度 4 月の見込み数を確認させていただいたところ、資料のとおり 741 人と、大体昨年度の数字と同等となって、増加傾向が一旦落ち着いた結果となっております。ただ、資料の裏面になりますけれども、学童保育所別で見ますと減少した学童保育所や増加する学童保育所もあるような状況でございます。今後、児童数の増加見込みですとか、小学校児童数の増加見込みなど踏まえまして、増加傾向の学童保育所におきましては、来年度より学童保育所の支援の単位を増やして対応していくこととしております。児童数が今まで急増していたのが落ち着いたんですけれども、落ち着いた原因は一概には言えないんですけれども、各学童保育所の方に例年と異なる傾向がないかなということでお伺いしておりますと、やはり新型コロナウイルスの感染症の影響、それによって保護者の方の仕事状況の変化、例えば在宅になったりとか、あと失業されたりとか、仕事を探していたけれども見つからなかったのやっぱりやめますとか、そういったことがあるように思われました。今年度は最初に臨時休業等もございましたので、今年度途中でやはり退所した児童数が、例年に比べて非常に多かった年でございます。そのため、当然継続されて利用される方も少なくなっているので、来年度の人数に影響が出たと思われまます。あと、前回の会議の中で中島委員からご意見いただいたことを受けまして、支援の必要な児童数についても、学童保育所別に今回掲載させていただいております。湖南省の学童保育所において、支援の必要な児童数は資料下の方の①から⑦に該当する方を湖南省として定めております。また、障害福祉の事業にはなるんですけれども、学童保育所ではなく、放課後等デイサービスを利用される方は当然いらっしゃると思います、確認させていただいたところ小学</p>

	生の児童さんで、現時点で48人程度おられるということもあわせてご報告をさせていただきます。
副会長	ありがとうございました。学童保育についてはまだ年々これから利用される方がますます増えてくると思いますが、皆さんの中でご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。重要な中身だと思っておりますので、よろしくお願い致します。
委員	ちょっとお聞きしたいんですけども、本年度は、入所の児童数が例年よりも少ないということで、単位数が三つしか増えてないと思うんですけども、今後を見据えた時にその単位数が増えるという可能性で考えた場合、場所などはある程度見通しがついているのでしょうか。
事務局	当然学校ごとに考えていけない部分だと思っています。今まで利用児童が急増して支援単位数はどんどん増やしていったのですが、結構一つの支援の単位の児童数がやっぱりかなり多かったので支援の単位数を増やすことによって、集団としては、少人数化というか、適正な規模になってきておりますので、一定の余裕はあるかなと思います。しかし、一部の小学校におきましては、少子化の中でも児童数が増えていくという学校もございます。そういうところは学童の利用も増加する傾向がございますので、まずは学校施設の空き教室などが活用できないかを検討していく方針であります。
委員	もう一ついいですか。今回、支援の必要な子どものニーズも書いていただいたんですけども、総児童数の中の支援の必要な児童数がこれだけおられるということになると、この単位数の部屋の中で過ごすのは、しんどいということはないのでしょうか。
事務局	お子さんの特性によって様々なので、ちょっと一概には言えないところも多いかと思います。支援の必要なお子さんがたくさんおられるので、その分先生の数も必要になってきておりますので、特に支援の必要な児童数が多い学童保育所においては、加配という形で先生についていただいております。
副会長	ありがとうございます。学童はこれから本当に大事な部分を占めてくると思います。はい他にございませんか。
委員	学童保育に関しましても、発達支援という観点から、学童保育の方へ行かせていただいて、保育の様子を見ながら、今おっしゃってくださった支援が必要なお子さんに対して、こういうふうな関わりをすればいいんじゃないかとか、また、場所についてもスペースを有効に活用していただく形で、静かに過ごせる場所をどうしたら作れるかということも一緒に検討させていただく機会を持たせていただいております。確かに人数が増

	<p>えてくるとそういう配慮はとても必要になってきますので、来年度からも引き続き要望のあるところには、お伺いさせていただいて、そちらの相談を受けていきたいと思っております。</p>
委員	<p>前回の会議の意見で、学童の中に支援を必要な子どもたちがどれくらいおられるかということで、今回、数字を示していただきましてありがとうございました。印象としては、非常にパーセンテージが高いなと思って見させていただいてます。これはおそらく、湖南省には発達支援システムがあって、かなりスクリーニングがそこでされていて、高い数字になっているのかなと勝手に思ってるんですがそれはそれとして、一つは基本的に学童には年齢制限があったと思いますので、何歳が年齢制限になっているのかということが一つと、それから、学童と放課後等デイサービスがありますが、これは支援度によって振り分けされるのか、或いは利用者の希望によって、学童か放課後等デイサービスの利用がされるのか、わかりましたらお聞かせいただきたいと思います。以上です。</p>
事務局	<p>年齢のことで言いますと学年は、条例上、1年から3年生ということで基準を定めております。ただし、4年生以上もたくさんおられます。必要な方はご利用できるようになっています。支援の必要なお子さんにつきましても、徐々にお家に帰る練習というのをさせていただいてるんですけど、なかなかその進み方っていうのは個人差がございますので、やっぱり一定の支援の必要なご家庭、お子さんとなりますと、そういったことが進まなかったりで、より率が高くなってしまうということも出てくるのかと思っております。また放課後等デイサービスとの兼ね合いなんですけれども、学童保育所は保護者の就労支援という目的を持ってまして、放課後等デイサービスはご存知のとおり療育というところが主でございますので、目的が違うところもございます。なので利用者の中には、学童保育所に行きながら療育も必要だということで放課後等デイサービスに行かれたり、両方行かれてる方も中にはいらっしゃると思います。保護者さんの選択になると思うんですけども、支援の仕方ではないかと思っております。以上です。</p>
副会長	<p>よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。他にどなたかご意見ございますか。</p>
委員	<p>学童保育の保護者の方からなんですけど2点ございます。1点は、近隣の学童保育所のご近所に住んでらっしゃる保護者の方から、その学童保育所でももちろん駐車場を設けてらっしゃるんだらうけれども、特に雨の日なのですが、学童保育所の近所に車が止まって、すごく通行の妨げがあるとか、そういった苦情が幼稚園の方にも結構聞こえてくるのがよ</p>

	<p>くあります。すごく広い場所に駐車場をとってらっしゃるところは問題ないと思うのですが、本当に住宅中の真ん中で、普通の民家のお隣に立ってある施設については、その前で遊ばれて、突然飛び出してきて困るとか、そんなご意見も聞きますので、またそういったご指導もいただけると事故等がなく済むのではないかなと感じました。もう1点は、先ほどの支援の必要な子どもさんのことにも関わっていると思うんですが、今までそんなことなかったんですけど、うちの幼稚園に来年度から学童保育所の方にご厄介になる子どもさんがいて、いつもよりは結構たくさん行かしてもらおうようなんですけれども、子ども同士の関係性など、事前にお聞きいただいて、学童保育所の方でよりスムーズに受け入れができるように配慮を今年はすごくしていただいているように感じまして、こちらから卒園していく子どもなのですが、ちょっと安心させてもらっているところもありますので、すごくありがたいと感じています。子ども同士の中であったり、いろんな保護者さんであったり、そういった情報が共有できるということは、よりスムーズにできるのかなと思いますので、良いことだと感じています。以上2点です。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。いろんなところですけど、やっぱり連携していくのが一番大事なことだと思いますので、それぞれの場所で連携が進んでいくのがベターだと思います。他に皆さんどなたかありますか。よろしいでしょうか。それでは4番目、子ども家庭総合センターの運営状況について、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>まず1ページ目がいしべ子ども家庭総合センター、2ページ目がいわね子ども家庭総合センター、3ページ目がしもだ子ども家庭総合センター、4ページ目がみくも子ども家庭総合センターの状況でございます。今年度4月から子ども家庭総合センターというものを立ち上げて、保健センターやそれぞれのいろんな機関と繋がりながら、ちょっと子育てがしんどいというご家庭に対しまして相談を受けるなどの支援をしております。見ていただきますように、やはり4月、5月は初めてだということ、それからコロナ対策のこともありましてなかなか皆さん出てきていただくことができなかったということもございますので、ちょっと件数は少なくなっております。資料の表は、対象年齢別、また相談種別、それから相談形態ということで、記載させていただいております。いしべ子ども家庭総合センターといわね子ども家庭総合センターにおきましては、比較的来所の相談が多いです。といいますのも、こちらの方はそれぞれに子育て支援センターを併設しておりますので、これまでの、子育て支援センターに子どもさんを遊ばせに来させながら、相談にこられてたという</p>

ようなケースがそのまま継承されていると考えております。それからしも子ども家庭総合センターは下田こども園、それからみくも子ども家庭総合センターにつきましては平松こども園内にそれぞれ設置しておりますが、子育て支援センターのようなものがなかったということで、子育てサロンに来られている方は、看板などを見ていただいていたものができたんだなと思っていただけたかと思えますけれども、まだまだ市民さんに浸透していないということで、訪問での相談支援の方が多いような状況になってございます。またそれからいろんな会議の方にも参加させていただいたり、主に家庭児童相談室や保健センターと連携しながらという会議が多くなっておりますけれども、それ以外にそれぞれの地域の各会館であったり、小学校であったり、つどいの広場、また生涯学習課が行っている親子プレイステーション等に出向いて行って連携をさせていただいております。また、今は手元にないんですけども、こにゃんの大きな絵の書いた子育て支援ガイドブックがございまして、そちらに子ども家庭総合センターを掲載したり、他機関からいろいろ情報収集させていただいたものを、1年に1回、冊子として発行しております。あと、子育てに関する情報をホームページに掲載したり、スマホアプリのこなんいろで掲載するなどの担当をしております。まず知っていただくということが第1になりますし、保育園・こども園の方に併設しておりますので、こども園や保育園の先生から「ちょっとこのお母さん心配なんやけどもセンターの先生どうやろう」と言って繋いでいただいたり、それから子どもを送りがてら「ちょっと先生聞いてくれへん」と言って寄っていただくようなことも徐々に増えてきていると聞いております。また、それぞれ皆様方委員様の役割の中でも、ちょっとしんどい保護者さんがおられるとか、ご家庭でちょっとどうやろうなということで気になるような方がいらっしゃったら、どんどんそれぞれの中学校区ごとの子ども家庭総合センターに、お繋ぎいただきたいと思えます。そちらの方で、継続的に伴走的な支援を進めていく体制をとらせていただきますので、どんどん情報の提供の方をお願いしたいと思います。それから、なかなかこの市役所だけですべての子育て支援が完了するわけではございませんので、地域の子育て支援の人材の掘り起こしということにも力を入れさせていただいております。この4月から、県の方で里親登録をしていただいた方に、ちょっとしたショートステイとかトワイライトステイの方も委託できるよう国の法改正がございました。そういうことでは湖南市はなかなか里親登録の件数も少ないですので、地域の方でちょっとお預かりいただけるような里親の掘り起こしなども、こちらのセンター

	<p>でどんどん進めていきたいと考えておりますので、そういった方の情報もあるようでしたらぜひとも子ども家庭総合センターの方にお寄せいただけたらと思います。とりあえず1年やってみて、まだまだひよっこです。これからどんどんと質を高めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いしたいと思っております。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。これも各機関それぞれに連携が進んでいるようです。本当に大事なことで、益々進んで深めていきますように、見守りながら期待していきたいと思っております。このことについて皆さん、ご意見、ご質問がありましたらよろしくお願いたします。</p>
委員	<p>本年度からということだったので、もちろん認識というか、市民の皆さんの認識がちょっと薄いついていうことは多分にあると思うんですけども、コロナでの学校の休校なんかで、やっぱり学校に行けなくなってる子どもが相当数増えてるんですけども、やはりここを見てる限りでは、この不登校に対しての相談件数がほとんどないなっていうのを見てると、小学校にしても中学校にしても、そういうところに相談しに行けばいいのかなっていうのが、ちょっと繋がってないのかなっていうのと、学校からも適切なアドバイスなどが、もしかして少ないのかなっていうのをちょっと感じるの、小学校も中学校も全部、湖南省でカバーするという意味じゃなくて、何かそういったアプローチがもうちょっと必要なのではないかなと感じました。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。大事なことですよね。</p>
委員	<p>相談のところの、こちらの関係機関との連携というところを見ていただきますと、上から、五つ目ぐらいのところの不登校ネット会議兼巡回相談担当者会議という会議がございます。これ実は、学齢期の小中学校のお子さんの不登校傾向のある方々の様子について共通理解して対策を考えていく会議なんですけれども、この会議に毎月、このセンターの先生にも出ていただきまして情報共有させていただいています。中にはケース会議といって、そのお子さんの関係者会議に参加して欲しいという要望をさせていただいて、実際出ていただいたりすることが増えてきておりますので、直接の相談はここには挙がってないかもしれないですけども、十分関わっていただいているケースが増えてきております。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。それぞれの機関で、連携が進んでいるように思います。他に皆さん、ご意見ございませんか。</p>
委員	<p>1年目ということで今年はコロナもあり、現在PR中であるにもかかわらず、もう一つPRが足りないという報告があったんですが、見てみますとこれ、例えば子どもが生まれるまでに母子手帳ができて、すぐに市の専</p>

	<p>門の保健師さんとの連携もできて、それから乳幼児健診或いは新生児訪問等、重なるような部分があって、この4ヶ所あるのがちょっと贅沢ではないかなという感じを持っておりました。まだできた当初ですから何とも言えないんですが、まだこの中で今、この各関係機関との連携という中でですね、保育園が民営化されました。民営化された保育所には、市の思いをいろいろと言ってますので、これで継続してくださいということがありますが、それを市の方でもやられるんでしょうけども、この4ヶ所の市直営の子ども家庭総合センターから、抑止力ではないですが、市の方針に沿っているかどうかということ、いわゆる株式会社だと儲けに走るんじゃないとか、極端な言い方でそんなことはないと思いますが、それで、他の保育所でも、市の方針と違うようなものが入ってくるとか、角度を変えとかいうものに対してやっぱり、一種のお目付け役とは言いませんけどそういう機能も発揮してもらいたい。それから、これでいいますとね、小学校中学校とあるんですよ。これ小学校は公立ですよ。ところが、保育園との連携とか会議は一つもないので、そのあたりもこれから先の検討課題として、入れていかれたらいいかなと感じました。ただ1年目ですから何とも申し上げにくいですが。子どもたちや核家族の中でなかなか相談場所がないお母さん方にいいものを提供するための影響力を与えてくれるという部分を私は評価したいと思ってます。</p>
事務局	<p>今の委員のご意見ですけども、まず新生児検診や赤ちゃん訪問等の繋ぎは、保健師の方と十分に連携をさせていただいております。また保健師の方も今、新型コロナウイルスの対策で、これからワクチン接種が始まりますので、より多忙になって参ります。そういう部分を子ども家庭総合センターで十分にカバーできるような体制づくりを進めていくことになろうかと思えます。また、今おっしゃっていただきました中学校区ごとの保育園・こども園と、民間も含めての連携ということで、今年度は民間移管園に関しましては、1年目ということで、公立の旧の園長先生などが、月1回訪問をしていただいて、公立からの急激な変化であったり、公立でやっていたことをできるだけ継承していただきたいという意味もありまして訪問させていただいております。それが来年度からは、一定民間の自主性に任せていくということがございますので、民間園だけではなく、その校区全体のそれぞれの園の方にも訪問をいただいて、様子を見ていただいたり、こういった方向性の方がいいんじゃないかなというようなご意見や助言をいただけるような立場になっていただけたらなと思っております。ただし保育園の運営自体に関しましては、幼児施設課で指導監査を行っておりますし、そちらの方でも定期的な訪問を行っており</p>

	<p>ますので、そのこのところとも連携をしながら進めていきたいと考えているところでございます。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。公私連携はものすごく大事なことだと思います。同じ地域で育つ子どもたちにとって、ある程度共有される部分というのは、必要だと思いますので、これからだんだんと連携を進めていただけたらと思います。この連携が広い範囲の連携に進んでいけば、本当に素晴らしい子どもを見守るところになるんじゃないかなと私は期待しています。よろしく願いいたします。他に何かご意見ございませんか。よろしいでしょうか。それでは、第4の議事終わらせていただきます。これで一応、議事は終了ですが、その他に入らせていただきまして、事務局の方から何かありましたらお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日配布させていただいております追加資料で、コロナ対策として、今年度に行いました、子育て世帯への生活支援についてご報告させていただきます。国の施策としまして、ひとり親世帯臨時特別給付金というのがございました。こちらは児童扶養手当の受給者や、家計急変者等に対して、1人目の子どもについては5万円、第2子以降については、3万円の基本給付というのがございました。それと追加給付としまして、このコロナによって家計が急変した、児童扶養手当の受給者等に、1回だけですけども、1世帯に5万円の給付がなされております。8月ごろに給付させていただいております。その次もひとり親世帯臨時特別給付金ですが、臨時特別給付金の再給付ということで、一度受給された児童扶養手当受給者や家計急変者に対して、再度、基本給付のみ、第1子が5万円、第2子以降3万円の再給付を、こちらは昨年の12月に支給しております。</p> <p>それから、次に子育て世帯への臨時特別給付金ということで、こちらは児童手当の受給世帯に、一時金を給付しております。令和元年度の時点で、中学3年生までの児童が対象でございました。こちらは子ども1人につき1万円の給付で、6月に給付の方をさせていただいております。それから次に市独自の生活支援施策でございますが、湖南省子ども未来助成金を支給しております。こちらは定額給付金の対象とならない、令和2年4月28日から12月31日までに生まれた子どもの出産をお祝いするとともに子育てに係る生活支援として給付しております。こちら、定額給付金と同じく1人につき10万円の給付をしております。給付件数としましては、265世帯に給付しております。そして次が湖南省未就学児生活支援助成金ということで、令和2年4月1日までに生まれた未就学児に対して、支給しております。こちらは子ども1人につき1万円の支給ということで、概ね8月頃に支給させていただいております。それから、もうすでに</p>

	<p>報道とかでご存知かもしれませんが、現在国が低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金、仮の名称なんですけれども、こういったものを検討されておまして、児童扶養手当の受給者の世帯や、2人親でも低所得の世帯につきまして、子ども1人につき5万円の給付をするということで検討されております。いつ支給できるかは、まだ決まっておりませんが、児童扶養手当の受給者の方に対しては、4月から5月ぐらいの支給になるんじゃないかなと考えております。2人親の低所得の世帯の方につきましてはまだ、スキームが全く国の方から示されておられないので、今後どうなるかわからないというような状況でございます。以上でございます。</p>
事務局	<p>この表には書いておりませんが、市の単独事業の湖南省未就学児生活支援助成金、未就学児に対して1万円の支給なのですが、これはなぜ未就学児にしたかと申しますと、小中学生の6月、7月分の給食費の無償化がございました。園児に関しても給食費の無償化を検討しましたが、保育園に通っていない子どもは、何も助成がされないということで、未就学児に関しましては給食費の無償化にするのではなく、給食費の2ヶ月分ということで、1万円を生活支援助成金という形で給付をさせていただいたということでございますので補足説明をさせていただきます。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。今説明いただいたところで、皆さん何かご質問等ありましたらよろしいでしょうか。ありがとうございました。皆さんの、ご協力によりまして一応これで議事は終了ということです。今年度のこの会議は最後になりましたので、今までいろんなところで、現場とか地域とか、また、それぞれのお考えの中でいろんなことを感じられたこととか、こんなふうだろうかいろいろあるかと思っておりますので、最後ですので、できれば、全員の方一人一人にお考えを言っていただきたいと思うんですけれども。全員でなくてもいいですけども、できたら皆さんのお声が聞きたいと思っております。事務局よろしいでしょうか。それでは皆さん、お1人様ずつ、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>いろいろ子育てのことに関して、市を挙げて考えていただいて、子どもたちにも、そしてそれを支えていただく保護者の方にも、いろんな手厚い支援をどうしたら、公平にできるのかなということを一番に考えてくださって、いろんなことをしていただいているのかなと思います。私たちも今幼稚園型の認定こども園にいますが、やはり益々働いている方の需要というのは、高まってきていると思いますし、無償化になって、新2号認定を受けられて、2号ではないけれども、働いてらっしゃる方も非常に多くおられます。1号でも、やっぱり幼稚園にいる間だけでも働こうとい</p>

	<p>うことで、ほぼ毎日家にいる方を探す方が大変なぐらい働いてる方がいらっしゃると思いますので、それぞれの立場で、私でしたら私の幼稚園の立場で、子どももさることながら保護者の方もいろんな悩みを抱えてくださっているので、支えていかなければいけないということを感じますし、この会議に出席させてもらっていろんな情報もいただくので、先ほどの相談のところではないけれども、こんなところがあるよっていうことも、園の方からも発信する役割っていうものもあるのだと思いますので、そういったことも引き続き行っていきたいと思います。いろいろありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>私もこの会議に去年と今年度参加させていただきまして、本当にいろいろ学ばせていただくことがたくさんありました。未就園の乳児から小学校中学校の児童まで、公立、また私立問わずに切れ目のない子育て支援をしていくことがすごく大事だし、ここにいろいろな方が、集まっていろんな視点で話してくださることを聞いて、私は公立の園にいるっていうことで、視野が狭い部分もいろいろ考えさせていただくことができ、とても勉強になったと思っています。先ほど、うちの園の中に併設されている子ども家庭総合センターのことも、園としてとてもありがたいなと思っていました。本当に保護者の方の中には、園児のことだけではなく、学校に行ってるお兄ちゃんお姉ちゃんのことですごく悩んでおられたりとか、あと夫婦関係で悩んでおられたりするんですけど、その部分がやはり園児の目線からいくと見えないところもたくさんあって、私たちには直接言われぬしそれは、直接聞くべきことじゃないところもあるんですけど、その背景を含めて、子どもを見たり保護者の方と接するという意味では、すごくありがたいなと思っています。子どもたちが安心して安全にそして健やかに成長していけるように、また私たちも頑張っていきたいなと思っています。これからもどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>これまで出席しておりまして、実は保育園の民営化については随分と心配しておりました。といいますのは、この会のできる10年前もちょっと、対処させていただきまして、やっぱり公立保育園というのが市民の方々にとっては非常に信頼性が高く、民営化っていうのはもうほぼ不可能ではないかと思っておりましたが、いざできみますとで、実はこういう保育サービスというのは、公立園よりも、湖南市さんに悪いけども、民間はものすごく融通が利くといいますか、延長保育にしても、或いは土曜保育にしても、そういう部分で今まで、やってもらえなかったわけではないんですが非常に保護者の方々のニーズに沿った形のものが、民営化</p>

	<p>されたことによって移行できて、非常に利用されてるお母さん方の満足度が高い、決して公立の保育園が低いわけじゃないでいいんですよ、非常に信頼性が高いという面もありますから。そんなことで民営化するということについては、非常に私、うれしく思いました。ただですね、もう一つ思いますのは、この民営化して、保育園は民営化することによってよりサービスが良くなる。ただ、いろんなことを監督するとか或いは方向性を見ていくとか、難事例を相談するというふうなものはやはり先ほどの子ども家庭総合センターに相談するような形で、公が持つと。公で持つもの、民間で持つものをしっかりと区分けをしてあげて、ぜひ行政の方でそのような形をしていただければいいのかなということも未来会議の中で感じたところです。今後ともよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>お世話になります。うちは水戸地区っていうところにありまして、外国籍の方がすごく多い地区にいます。学童保育所なんですけど、4月からこの1年間に、多くの外国籍の方が保育料が支払えないということでやめられました。保育料が支払えないということは親御さんの就労が確保できなくて、皆さん困っておられるんだなということをひしひしと感じています。これから先のその子たちと親御さんの行く末をすごく懸念しています。また、そういったところも検討していただければなあと思います。よろしく願いします。</p>
委員	<p>私は初めてこの未来会議というものに参加させていただいて、とても勉強になりました。各セクションの皆様のお立場も、ものすごく理解することができましたし、私自身こうやって保育園、学童をしても知らない情報というのがたくさんありました。ですので、それをここで勉強させていただいた分、保護者の方も知らなかった方はたくさんいます。そういう方に、これから私が発信していけたらいいなと思っております。今まで勉強しかさせてもらっていませんでしたけれども、ありがとうございました。</p>
委員	<p>私、保護者の立場なので、毎年変わっていくのでもう来年は多分寄せていただかないと思うんですけども、うちの娘も息子も、保育園はモンチさんで、学童にも通わせてもらってまして、一応学童の運営なども見させてもらう機会もありましたので、こういう会議に出させてもらおうと、他のところでどういう形で運営しておられるのかなということが見れたのがすごく良かったなっていうことと、先ほども言うておられたように、発達支援の方とも、これからも繋げていかれるということから見ても、学童でしたら民間運営なのでそういったことを知らない学童さんもたくさんあるんじゃないかと思うと、そういったことも、繋げていってほしいと</p>

	<p>思います。今回、こういった会議に出席させてもらえてすごくよかったなと思っています。これから子どもが中学校に行くんですけども、中学校でもそういうことが話せたらいいなと思って参加させていただきました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>私は、ちょうど HOPPA 石部南にいる子どもがいましたので、民営化になることにすごく不安を感じていました。この会議に出ることによって不安が解消でき、また、不安に思ってるお母さんたちにも、少しでも情報発信ができてよかったなと思ってます。そして、2年間いろんな意見を聞いて大変勉強になり、子育て以外の市の活動も勉強しないとけないと思い、地域の活動にも参加するようになり、すごく勉強になる2年間でした。ありがとうございました。</p>
委員	<p>2年間ありがとうございました。わけもわからずここに参加させていただいて、いろんな方のお話を聞く中で、こういう場には、限られた人しか来れないっていうのがすごくもったいないと思っていた時があって、これらをどうやって人に伝えようか、こういう取り組みをやられてることを、知らない方がもう圧倒的に多く、「何それ」って聞かれることが結構多かったです。それを、一般的にみんなに知ってるようにするには、どうしたらいいかいろいろ考えて、このご時世、アプリであるとか、SNSであるとか、いろんなことを、多分されておられると思いますけど、やはりそこは、一番地域の繋がりを深めるのは口コミであるのとらえて、私は友達とか子育て中のお母さんに、こういうのあるよと、伝えていきたいです。子ども家庭総合センターも1年目ということだったんですけど、1年目でもこれだけ人数がおられるのがすごいなと思ったのと、あと、やはり人に伝えていくってところで、それが何のために伝えるのか、誰を思って、何のために、誰のためにとって考えた時に、やっぱり相手の方を思って伝えるわけであって、誤解のないように、その人のために、こんなものがあるよって伝えて、その人がそれでちょっとでも軽くなるのであれば、いいなと思いました。本当に微々たる力ですけども、これを人に広めていきたいなと思っております。ありがとうございました。</p>
委員	<p>少年センターは何しているのかというところの話になるのですが、この会議は幼児期から学齢期までの広い分野の関係者の皆さんが集まっていたので、ここまでお話を聞かせていただいて、非常にありがたかったなと思っております。少年センターの場合は、概ね14歳から成人までの少年たちを対象に、様々な部分で支援をしながら、社会参加をしていただくという支援の施設でございます。思春期から青年期、子どもが大きくなって、学校という枠を外してしまうと、どこにも支援する組織や、機関な</p>

	<p>どが、なくなってしまふ、だんだん子どもが大きくなっていくごとにそういった場所が少なくなっていくのが現実であります。そこをいかに子どもたちのために支援していくか、日々、いろんなことを考えながら、子どもたちと接しております。一つ、センターの大きな柱として居場所づくり、それから、参加意識、それから、高度な支援というところ柱にして、進めていくわけですが、こういった会議に参加させていただくことによって、なかなか発言はできなかったんですけども、幅広い部分で支援をされておられる元の部分を理解させていただいたことは非常に大きかったし、ありがたかったと思っています。様々なしんどい部分を抱えている子どもたちとか、ご家庭とか、その子が大きくなっていったときに、我々とまたかかわらせていただくような、そんな情報をいただくと非常にありがたいなと思いますし、また、こういうところあるんだということをご紹介いただくと非常にありがたいなと思います。ありがとうございました</p>
<p>委員</p>	<p>私は障がい分野の立場でいろいろと発言をさせていただきましたが、障がい分野のテーマで一番大きなのは、やはり共生社会をつくるというテーマです。それで日々取り組みをさせていただいておりますが、先ほどの外国籍の方もそうだと思いますが、まだまだ、いろいろ生活のしづらさを持った方々がおられると思います。そういう方々が本当にこの町で、ともに暮らすためのいろいろなサービスの利用ができてののかどうかというと、まだ道半ばではないかなと思っています。そんな中で、障がい分野では、国の方が施策的にも共生社会をつくらうということで、スローガンがありました。ともに遊び、ともに学び、ともに育ち、ともに働き、ともに暮らすというスローガンです。そういうスローガン、本当に分け隔てなく、どういう状況の方々も、この湖南省市でともに暮らしていける、そんな、まちづくりができたらいいなと思っていますし、この会議に参加させていただいて、よりそのことを強く思わさせていただきました。どうもありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>民営化によって公立園が8園から4園になって、今まで子育てサロンに関わってききましたけれど、公立園が半分になって、子育てサロンも半分になりました。そういうところで、民生委員・主任児童委員と園との関係、関わりが大分減りました。民間になった園との関わりにつきましては、積極的にこちらから関わりを求めていけないという状況の中で、どのように関わっていったらいいのか考えてるところで、子ども家庭総合センターとの連携をこれからもさらに深めていけないといけないと今、民生委員の中で考えているところです。地域として、いろいろな支援、子育て</p>

	<p>ての支援事業というのを、広めていく、発信していけたらよいと思っています。どうもありがとうございました。</p>
委員	<p>この会議に参加させていただいて保育園や学童保育所を必要とされている方がたくさんいらっしゃるんだということがすごくよくわかりました。また給付金のお話もしていただいたんですけども、社会福祉協議会でも、コロナで生活が苦しくなられた方に対しての貸付を、6月末まで受け付けております。もし困っておられる方などがおられましたら、またご相談いただければと思いますのでよろしく申し上げます。ありがとうございました。</p>
委員	<p>主に発達支援であるとか、その障害の理解というところで、ここに参加させていただいたわけですけども、湖南市の発達支援システムは、その子どもを長く見ていくということになって、縦と横の連携っていうのがあります。例えばその子の育ちをずっと見ていく、横っていうのはその子に関わる方々皆さんで、横に手をつなぎながらその子を見守っていきましょうという仕組みなんですけど、この会議に参加させていただくことで、その横に手をつなげる方々がこんなにたくさんいらっしゃるんだということを知ることができて、すごく心強く思えた2年間でありました。</p> <p>また、支援の必要なお子さんが増えてきているという実態もこの会議の中で見えてきたんですけども、それと同時に、子育てを難しいと感じている保護者さんも増えておられるということですので、その方々が、自分のやりたいことなど希望をかなえられるような暮らしになっていけるように、私の立場で一層頑張っていきたいと思っておりますし、ここでいただいたご意見や情報などを基にして、どういった関わりを持っていったらよいかということは今後も考えてきていきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
委員	<p>私は、今年度からこの会議に参加させていただきましたけれども、本当に市の子どもたち、ご家庭に対しての支援として、いろいろな機関が関わっておられるということ、そしていろいろな支援の仕方があるということ、いろいろと学ばせていただきました。家庭児童相談室の立場から言わせていただきますと、今年度民営化されまして、私立の保育園がたくさん増え、今まで公立園と密に情報共有をさせていただいていた分、私立になったらどうなるかなと心配しておりましたけれども、私立の保育園、こども園からも、毎月、心配なお子さんについての情報を密に連携をとらせていただいておりますし、小中学校と同様、子どもの虐待防止に関する連携はしっかりとらせていただけていると思っております。また、先ほど話題に出ました子ども家庭総合センターと支援拠点として連携いたしまし</p>

	<p>て、私たちは子どもやご家庭で子育てがしんどいとか、最近ですと生活が苦しくてどうしてもいろんなことで困っていて、お母さん自身がイライラしてしまって、子どもに手が出てしまうということも多々ありますけれども、そういうことに関しまして相談機関として、家庭児童相談室であったり、子ども家庭総合センターが、そういういったしんどい思いを受けとめたり、相談に乗ったりして、虐待に繋がらないところで防止できるような対応をとらせていただけたらと日々思っております。また、この会議では、いろんなことを教えていただきまして、私も子どもの子育て支援に関しての一つの機関として、またいろいろと活動させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
副会長	<p>大変貴重なご意見いただきまして本当にありがとうございました。おひとりおひとりのご意見、本当に素直に心の中に入ってきました。その中で、いろんな機関、いろんな人たちが連携していくこと、特に今言われたように、密に連携していくということがどれだけ大事かっていうのを心に留めさせてもらったと思います。本当に皆さん、2年間いろいろありがとうございました。以上をもちまして、この会議は終了するんですが、拙いもので、ご迷惑をかけたと思いますが何とか終わることができました。本当にありがとうございました。なお、聞くところによりますと、この3月でこのメンバーでの委員の任期は終了しますが、また次年度から新しい委員で発足されるように聞いております。今ここにおられる方に、また委嘱されることもあると思いますのでその時は皆さん本当にお忙しいと思いますが、ご協力していただければと思います。本当に長い期間、ありがとうございました。今日は本当にありがとうございました。これで終わらせていただきます。それでは事務局の方よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>副会長、ありがとうございました。また、委員の皆様、本日は本当にありがとうございました。2年間お引き受けいただきました委員様や、今年度だけの委員様もおられますけれども、今年度末をもって一旦任期満了となります。第二期湖南省子ども・子育て支援計画の策定をはじめ、本市の子育て政策に関する案件に対しまして、慎重にご審議いただき本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、健康福祉部長よりご挨拶申し上げます。</p>
事務局	<p>副会長、進行いただきましてありがとうございました。そして委員の皆様、2年間の任期もしくは1年間の任期の方もあったかと思いますが、これもこの会議に熱心にご議論いただきまして、また最後にはそれぞれの</p>

	<p>言葉を、自らの言葉でいただきまして本当にありがとうございました。子ども・子育て支援計画を作っていただいたのもこの会議でございまして、これも今年度が初年度、それから話題に上がってございました保育園、こども園などを民営化させていただいたことも今年度が初年度ということと、コロナ禍であったということで、いろいろ今年度は、今までにない対応が迫られて、事務局の方もあたふたとしていたかと思えますけれども、今年度も、もう少しで締めくくることができるところまでやって参りました。本当に皆様のおかげと感謝しております。今日はこの会議でいろいろなご意見を聞かせていただいたことを、また次のステップに生かしていけたらと思っておりますし、また、この後もこの子ども・子育て未来会議の新たな委員を委嘱させていただくことになりますので、また皆様のご意見をいただきながら、この町に住んでよかった、この町で子育てしていてよかったと思っただけの保護者の方が1人でも多くなることに願いを込めまして、本日の終わりの挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>以上をもちまして、本日の会議を閉会させていただきます。委員の皆様ありがとうございました。</p>

【11時30分終了】